

令和8年 第64号

2026.2.5

こども食堂

# 「りんごの巣」通信



- ・今月の活動状況
- ・食品配付の状況
- ・ご寄付いただいた、企業・個人・団体

発行者 りんごの巣事務局  
連絡先 080-4503-9038  
Mail : ringonosu0@gmail.com  
Web : ringonosu.sakura.ne.jp

## 今月の活動状況



年が明け、子供たちの冬休みも終わりに近づいたころ、少ないと思っていた雪は必ずやってきます。スキーで遊ぶ子は昔より少なくなってきたと感じていましたが、滝野のスキー場にはたくさんの親子連れが雪を楽しんでいましたよ。今年は午年、なんだか跳ねるような気分で過ごしたいですね。でも、各地で頻発する地震は地面を跳ねているのでしょうか、ちょっと不安にもなります。

今月のメニューはおむすびがメインです。そして、おむすびによく合う、本当にたくさんの具が入った豚汁（めった汁）です。会食の途中には先月も来てくれたニャンマルがマルハンスタッフとともに来場、お菓子を配ったり、写真を撮ったり、楽しい食事会になりました。

今回は21家族、こども34人の参加でした。今回も1歳未満のお子さんを伴って参加された家族がありました。今回のお食事もお土産も、みなさんからの寄付金や寄贈品で構成しています。毎回のご協力本当にありがとうございました。私たちは皆様からのご支援をホームページやこの通信などでお知らせし、子供たちに届けられているのを見ていただきたいと思います。

次回参加ご希望の方は電話かメールで参加者の数と一緒に、早めにお申し込みください。

電話 080-4503-9038 メール (ringonosu0@gmail.com) 令和8年2月5日

## 1月のメニュー

## 寄贈いただいた食品など

### いただいた食材を大事に



この卵焼き100枚手焼き



### 1月のメニュー

- ・おむすび
- ・豚汁（めった汁）
- ・小松菜のしらす和え
- ・卵焼き
- ・佃煮
- ・デザート



ニャンマル参上 会場大うけ



### メニューを おむすび にした深い理由

1月17日は「おむすびの日」となっています。これは1995年に発生した阪神淡路大震災で、ボランティアの炊き出しにより被災者に多くのおむすびが届けられたことから、人と人との心をつなぐ「おむすび」の日として震災の起きた1月17日が記念日とされています。

私たちも、いままで、多くの災害やコロナ禍などに対峙してきました。そして、これからもこれから災害などに出会わないとは言いきれません。大変な状況でも助け合って生きて行く大切さを忘れないためにも、過去の経験を心にとどめておきたいと思います。

子供達にもこのおむすびの意味を伝えるために、おにぎりの日を説明したメモをお母さん方にも配布しました。とはいえ、子供たちがよろこんでもらえるよう、おむすびの具は5種類、好きな味から選んでもらおうと思いました。何が一番選ばれるかなと思いながら、鮭じゃない？いやいや梅も結構喜ばれたよ。とか、スタッフは楽しみながら作っていましたよ。

りんごの巣HP



ご支援、ご協力に感謝申し上げます。

次回は2月19日、次々回は3月19日 まなトピアは2月21日、3月21日開催

大果様、北日本フード様、北竜町道下様、チクレンミート様、商店街子ども応援企画様、悠貴様、ジョンソンホームス様、山下水産様、ファーム弦様、アマゾンジャパン様、フランチオフィス様、内海産業様、子供食堂ネットワーク様、タカハシグループ様、どうきゅう様、北光キーセンター渡部様、イオン豊平ビック店様、ジェイシステム様、わらく堂様、岡田商事様、芽室 村瀬様、札幌南ロータリークラブ様、マルハン月寒店様、創造学園40期石井様、創造学園43期友の会様、月寒東佐藤様、その他 団体、個人様（順不同）